

コンパクトで軽量 220g

発光周波数などの設定値を
ツマミで調整

明るさを任意に調整可能



電源は単3電池2本

広い発光周波数範囲
30~360,000FPM

超高輝度白色 LED 搭載
ムラのない均一な照射
長寿命ランプで交換コストを削減

POCKET STROBE P-2

止めないで止めて見る

軽い! 明るい! 長寿命!

ツマミでラクラク操作!

ポケットサイズのLEDストロボスコープ

活用例

モータの回転速度測定・機械における高速動作のチェック
鋼板や印刷物などの表面検査・R&Dにおける高速現象の解析など
ストロボスコープはさまざまな分野で活用されています

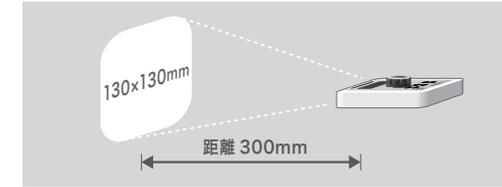


SUGAWARA

ポケットストロボ P-2

ツマミでラクラク操作!

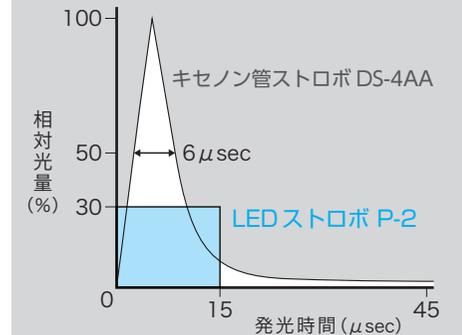
★見たい部分をムラなく明るく
300mmの距離で130×130mmの範囲をムラなく明るく照射します。



★使い勝手の良いLEDストロボ

超高速回転や観察の対象が微小な場合はキセノン管ストロボが有利です。一般的回転数計測や観察には、さまざまな点でLEDストロボの方が使い勝手が良いと言えます。

LEDストロボ P-2 とキセノン管ストロボ DS-A44 の発光時間
(発光周波数 6,000FPM、照射距離 200mm)



キセノン管ストロボは瞬時大光量の特徴としています。LEDストロボは発光時間を調整することで大光量を得ることができます。

●シリコンカバー (別売)



※滑り止めと外部衝撃の緩和に適しています。

★発光時間の調整は2通り

デューティー比設定モード

デューティー比 0.1~1.0%まで10段階の明るさ調整ができます。

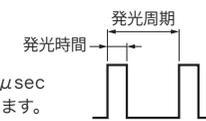
発光周波数を増減しても光量は設定した比率で一定なので、見える像の明るさが変わりません。

▶回転数計測に適しています。

デューティー比とは?

発光周期と発光時間との比率です。

例) 発光周期が100µsec、発光時間が1µsecの場合、デューティー比は1.0%になります。



時間設定モード

発光時間を0.1µsecから発光周期の1%まで、0.1µsec刻みで設定できます。(最大500µsec)

発光周波数を増減しても1発当たりの発光時間が一定なので、見える像の鮮明さが変わりません。

▶運動体、回転体の状態観察に適しています。

おもな仕様

発光周波数範囲	内部発振：30~360,000FPM 設定分解能：0.1FPM
発光時間設定	デューティー比：0.1%~1.0% (500µsec以下) 時間：0.1~500.0µsec (周期の1%以下)
発光体	超高輝度白色LED
バッテリー	単3形アルカリ乾電池2本 (別売) 使用時間：約2時間 (6,000FPM, 1.0%, アルカリ乾電池)
質量	約220g
寸法	L135 × W76 × H39 (mm)

⚠️ 正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

株式会社菅原研究所



東京営業所 〒215-0034 川崎市麻生区南黒川8-2
TEL 044 (989) 7320 FAX 044 (989) 7338

大阪営業所 〒578-0956 東大阪市横枕西6-17
TEL 072 (966) 1061 FAX 072 (966) 0961

E-mail: info@sugawara-labs.co.jp
URL: https://www.sugawara-labs.co.jp/

取扱代理店

国華電機株式会社
KOKKA ELECTRIC CO.,LTD.

本社 TEL: 06-6353-5551 兵庫営業所 TEL: 078-452-3332
京都営業所 TEL: 075-671-0141 姫路営業所 TEL: 079-271-4488
滋賀営業所 TEL: 077-566-6040 姫路中央営業所 TEL: 079-284-1005
奈良営業所 TEL: 0742-33-6040 川崎営業所 TEL: 044-222-1212

メールでのお問い合わせ: webinfo@kokka-e.co.jp

●仕様・性能は改良のため予告なく変更することがあります。 20YC2501



大光量・長寿命の
超高輝度白色LEDを搭載



明るい場所でも見やすい
有機ELディスプレイ

調整ツマミ

発光時間調整モード切替

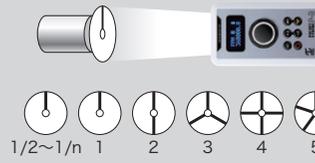
発光時間設定キー
発光時間と明るさを
任意に調整できます

ポケットストロボ P-2 を使った回転数計測

回転体にマークをつけます。

次に、マークに向けてポケットストロボ P-2 を発光させます。調整ツマミを回し、マークが1本の静止像になった時の値が回転数です。

発光周波数を高い方から徐々に下げて探してゆくののポイントです。マークが見えにくい場合は、**⊞**【発光時間設定キー】を押して発光時間を調整してください。



被写体が1本の静止像に見えるのは、回転数と発光回数が一致した場合と、回転数の整数分の一の場合があります。正しい回転数であれば、1本の静止像が見えた時点で**×2**【×2キー】を押すと、静止像が2本になります。